

# V 施策体系の整理

将来像	Key Value	展開方針	施策の方向性	施策	展開する取り組み	
多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される、「住みたくなる」「訪ねたくなる」「まちほっこい	自然	 観光地	(1)受入環境の整備	①安心して快適な空間づくり ②交通アクセスの改善 ③案内表示などの整備・充実	1)観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底 2)高齢化やまち歩きに対応したベンチや日よけなど休憩場所の増設(幸せますステーションを含む) 1)駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進 2)レンタサイクルサービスの充実	
			(2)美しい資源の保全・維持	①美しい資源の保全・維持	1)富海海水浴場や野島の案内看板の整備 3)観光地や駐車場の位置が一目で分かる観光看板の設置や地図システムへの登録 2)景観に配慮した案内板等の整備	1)地元自治会などの関係団体と連携した自然環境の維持管理 3)海辺を中心とした清掃等の環境保全活動の実施 2)参道等の街並みや景観の美化 4)「(仮称)防府ライフスタイル」の後世への継承活動
			(3)既存施設の効果的な利活用	①既存施設の効果的な利活用	1)観光資源として来場者が楽しめる機能をもつ競輪場の整備 4)市内道路の再点検とスポーツに適した路面等の検討 2)防府市スポーツゾーンに適した周辺インフラ等の整備 5)サイクリングターミナルを拠点とした自転車クリニック等の実施 3)観光と文化に貢献する山頭火ふるさと館の運営 6)山頭火ふるさと館の施設改善	
	歴史	 食	(1)防府らしい食の提供	①食を楽しむ機会の創出	1)食べ歩きメニューや、歴史をモチーフにしたメニューの開発と観光 3)防府読売マラソン大会の開催にあわせた出店等による飲食機能の充実 2)食材生産者等との連携・協力による収穫体験や調理体験の実施及び発信	1)高級料理「天神鱧(ハモ)」の旅行商品への組み込みによる認知度 2)初夏の鱧や夏の虎魚(オコゼ)、冬の河豚(フグ)など瀬戸内海ならではの食体験を組み込んだ旅行商品の造成及び販売支援
			(2)ストーリー性のある商品開発	①歴史的なストーリーを生かした食の企画開発 ②新しい食の開発	1)明治維新 150 年事業で商品化した「日英饗応料理」の再商品化やストーリーの再構築 2)「日英饗応料理」などの認定歴食への申請 1)防府「逸品食」に関する企画立案と新たな食文化の観光への取り込み 2)地域に眠る食文化の発掘と商品化	
			(3)食に関連する情報の収集・発信	①食に関連する情報の収集・発信	1)「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等へ配布 2)道の駅潮彩市場防府におけるおすすめ旬魚情報の発信	
	スポーツ	 おもてなし	(1)魅力ある観光地域づくり	①巡りたくなる観光ルートの提案 ②資源の魅力に再注目させる企画の実施や賑わいの創出	1)モデル周遊プランづくりとツアー情報の発信 2)サイクリングターミナルを拠点とし、佐波川自転車道を利用したサイクリングコースやトレッキングコースの設定とコース冊子の作成 1)防府天満宮を含む「すごいぞ！防府」4観光施設のほか、観光施設を 6)専門家等を招聘した歴史講演等の実施 活かしたイベント等の実施 2)トップアスリートとの交流イベントの実施 7)競輪場の空間活用と情報発信 3)学生や実業団などへのスポーツ合宿等の誘致 8)オリンピックイヤー等の国際イベントを活用したにぎわいの創出 4)映画館を活用したイベントの開催 9)市民総参加で盛り上がる防府おどりや「幸せますフェスタ」の開催 5)「(仮称)防府ライフスタイル」認定に関する制度設計や防府市観光振興推進協議会等との連携による候補の選定	
			(2)効果的な情報発信	①戦略的な情報発信の強化 ②テーマ別情報発信の充実	1)「まちなか登山」をキーワードにした大平山や右田ヶ岳等への登山誘客 4)野島海運予備船塀(レインボーのしま)を活かした近海クルーズの実施 2)右田、小野、大道地区等の田園風景などに着目したトレッキングや 5)歴史ファンを取り込むための各種イベントの実施(サブカルチャーサイクリングの実施と発信 3)着物の着付けや歴史ガイドツアー等「体験型観光」の推進 6)市南部の工業地帯や三田尻塩田記念産業公園を活かした産業観光の推進	1)テレビ・新聞・ラジオなどの既存のマスメディアを活用した情報発信 2)インターネット時代に適した動画等の多用や SNS などの発信頻度の強化 1)海水浴や海洋レジャー、釣りや海の家など「瀬戸内海体験」の発信 7)佐波川でのカヌーやキャンプ、バーベキューなどのアウトドア体験発信 2)四季ごとの眺望やSNSで映える景観の発信 8)伝統の祭り等(花神子社参式や腰輪おどりなど)を地域の魅力と一緒に発信 3)毛利元就没後450年や重源上人生誕900年の歴史的節目を活かした観光発信 9)身近な自然が気軽に楽しめることを市民や県民に向けて伝えた観光発信 4)セルビア女子バレーチームのホストタウンとしての露出拡大 10)ソルトアリーナ防府を中心としたスポーツゾーンの近隣市町への売り込み 5)レノファ山口 U-18 など市内で活動するプロ等の情報の発信 11)新春の一大文化イベントである「防府音楽祭」の情報発信の強化 6)文化財発掘や文献研究等の成果発表や、注目すべき成果の各種メディアを使った発信 12)華道や鋳物文化などの地域の伝統文化の収集と発信
			(3)多様な主体と連携した誘客促進	③ターゲット別情報発信の強化 ①周辺市町との連携 ②市民や事業者等の参画推進	1)文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ旧毛利家本邸等を大 2)近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼 会場として紹介 1)雪舟・大内文化のPR(山口市の県立美術館、本市の毛利博物館) 3)山口ゆめ回廊博覧会を契機とし、県央部の市町と連携した広域観光プログラムの造成と発信 2)毛利氏庭園の「ガーデンツーリズム登録」を生かして、雪舟ゆかりの自治体と連携した広域での情報発信 4)新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致 1)賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等と 2)観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成	